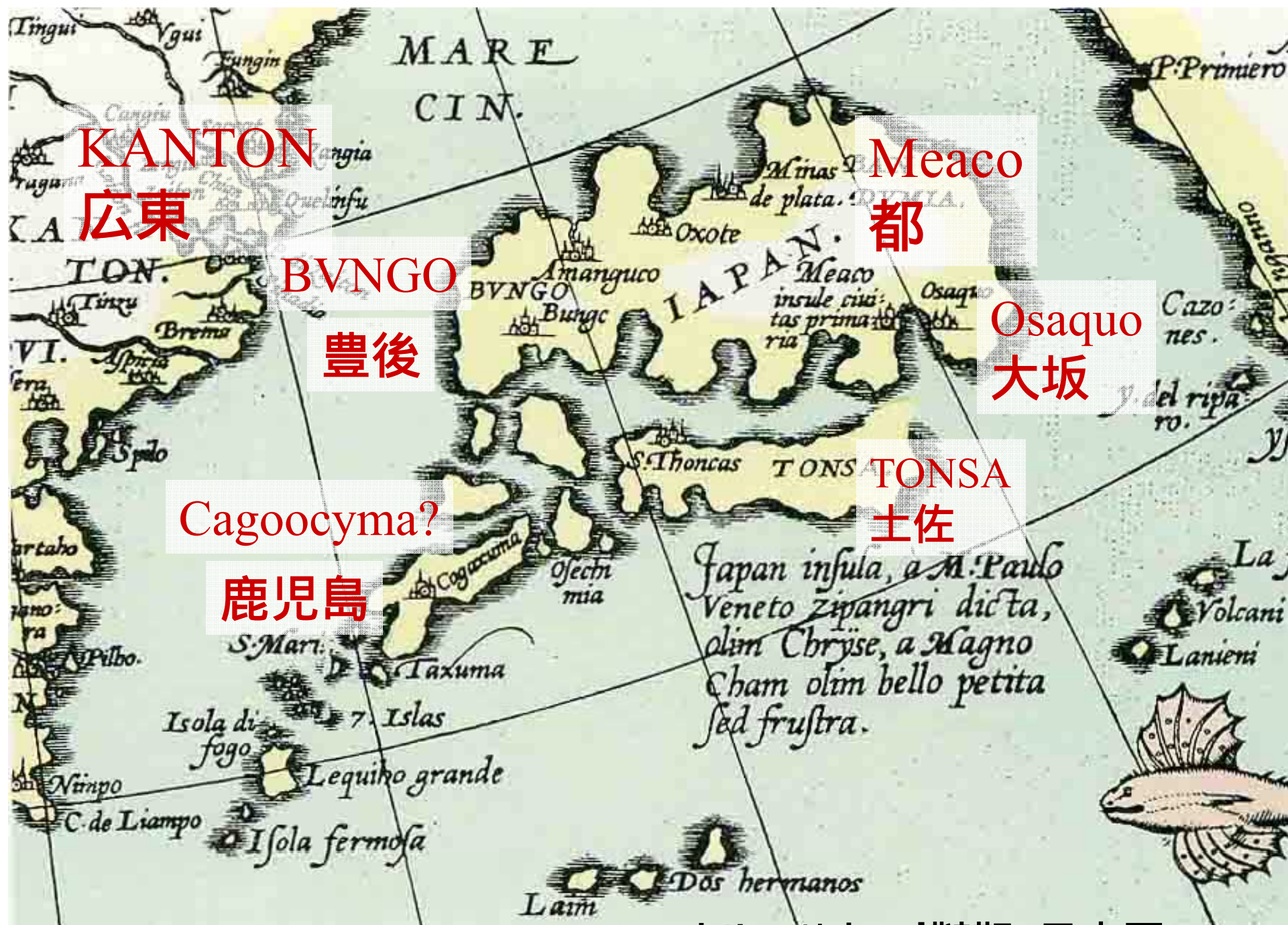


黒と白の物語

天下人編



オルテリウス「韃靼・日本図」

宣教師たちには西半分しか見えてなかったんだ。

ここにあったはずの
土地・大名・人びと



内容	通数 (%)
起請文	6 (1%)
名誉系	161 (29%)
宛行系	86 (15%)
安堵系	161 (29%)
優遇系	11 (2%)
命令系	1 (0.2%)
計	562

内容	通数 (%)
起請文	50 (2%)
名誉系	1025 (42%)
宛行系	641 (26%)
安堵系	478 (19%)
優遇系	40 (2%)
命令系	34 (1%)
計	2469



内容	通数 (%)
起請文	0 (0%)
名誉系	3 (2%)
宛行系	166
安堵系	0 (0%)
優遇系	0 (0%)
命令系	3 (2%)
計	166

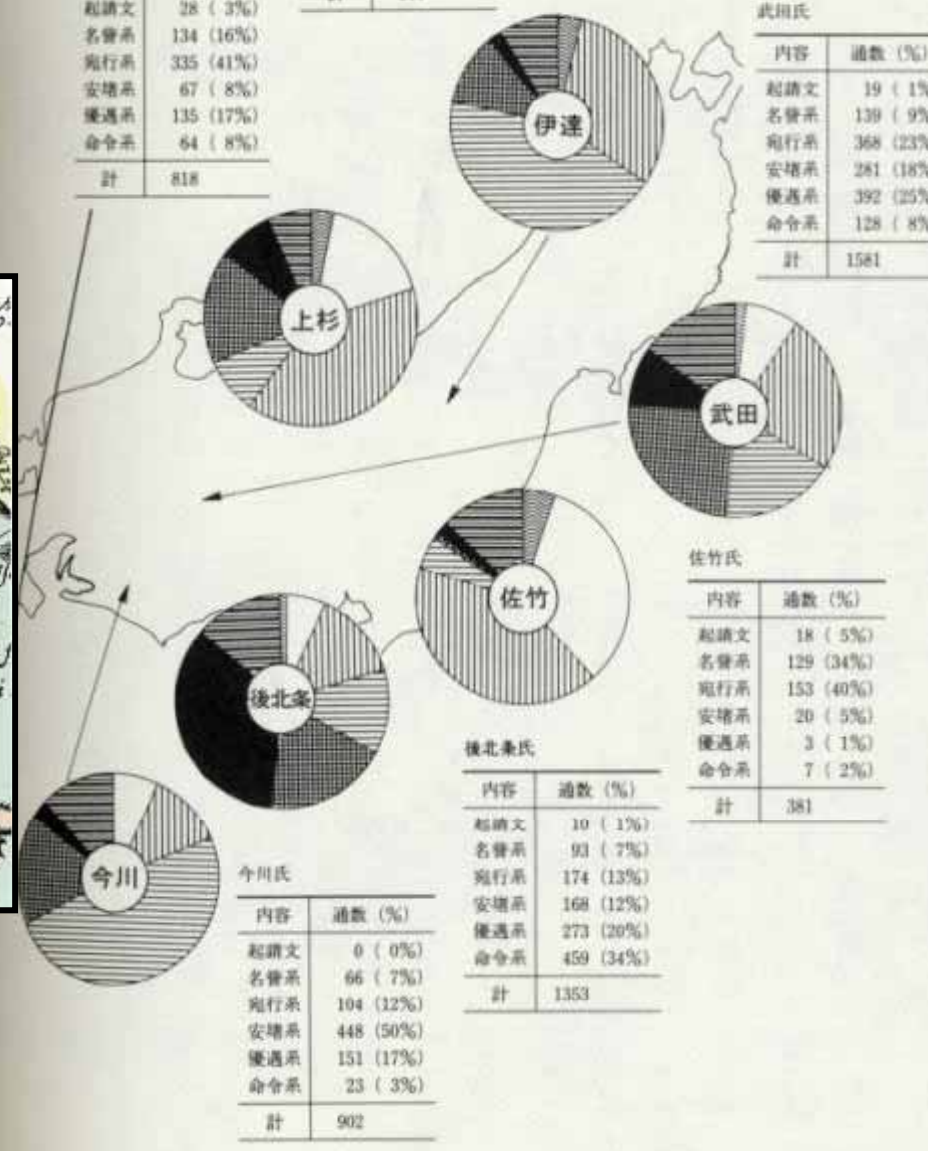
内容	通数 (%)
起請文	0 (0%)
名誉系	102 (43%)
宛行系	14 (6%)
安堵系	52 (22%)
優遇系	38 (16%)
命令系	2 (1%)
計	235

内容	通数 (%)
起請文	0 (0%)
名誉系	102 (43%)
宛行系	14 (6%)
安堵系	52 (22%)
優遇系	38 (16%)
命令系	2 (1%)
計	235

内容	通数 (%)
起請文	28 (3%)
名誉系	134 (16%)
宛行系	335 (41%)
安堵系	67 (8%)
優遇系	135 (17%)
命令系	64 (8%)
計	818

内容	通数 (%)
起請文	7 (3%)
名誉系	0 (0%)
宛行系	66 (31%)
安堵系	91 (43%)
優遇系	23 (11%)
命令系	4 (2%)
計	210

内容	通数 (%)
起請文	19 (1%)
名誉系	139 (9%)
宛行系	368 (23%)
安堵系	281 (18%)
優遇系	392 (25%)
命令系	128 (8%)
計	1581



内容	通数 (%)
起請文	0 (0%)
名誉系	66 (7%)
宛行系	104 (12%)
安堵系	448 (50%)
優遇系	151 (17%)
命令系	23 (3%)
計	902

内容	通数 (%)
起請文	10 (1%)
名誉系	93 (7%)
宛行系	174 (13%)
安堵系	168 (12%)
優遇系	273 (20%)
命令系	459 (34%)
計	1353

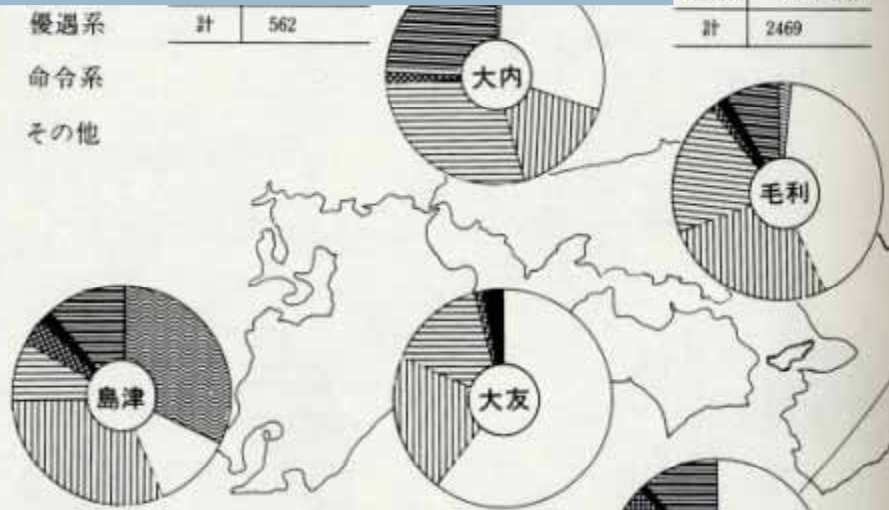
内容	通数 (%)
起請文	18 (5%)
名誉系	129 (34%)
宛行系	153 (40%)
安堵系	20 (5%)
優遇系	3 (1%)
命令系	7 (2%)
計	381

東国大名は黒の「命令系」と 格子の「優遇系」が多い

西国大名は白の 「名誉系」が多い

優遇系
命令系
その他

計 562



島津氏

内容	通数 (%)
起請文	51 (31%)
名誉系	19 (11%)
宛行系	53 (32%)
安堵系	14 (8%)
優遇系	6 (4%)
命令系	3 (2%)
計	166

大友氏

内容	通数 (%)
起請文	5 (0.3%)
名誉系	1030 (61%)
宛行系	341 (20%)
安堵系	244 (14%)
優遇系	23 (1%)
命令系	3 (0.2%)
計	1690

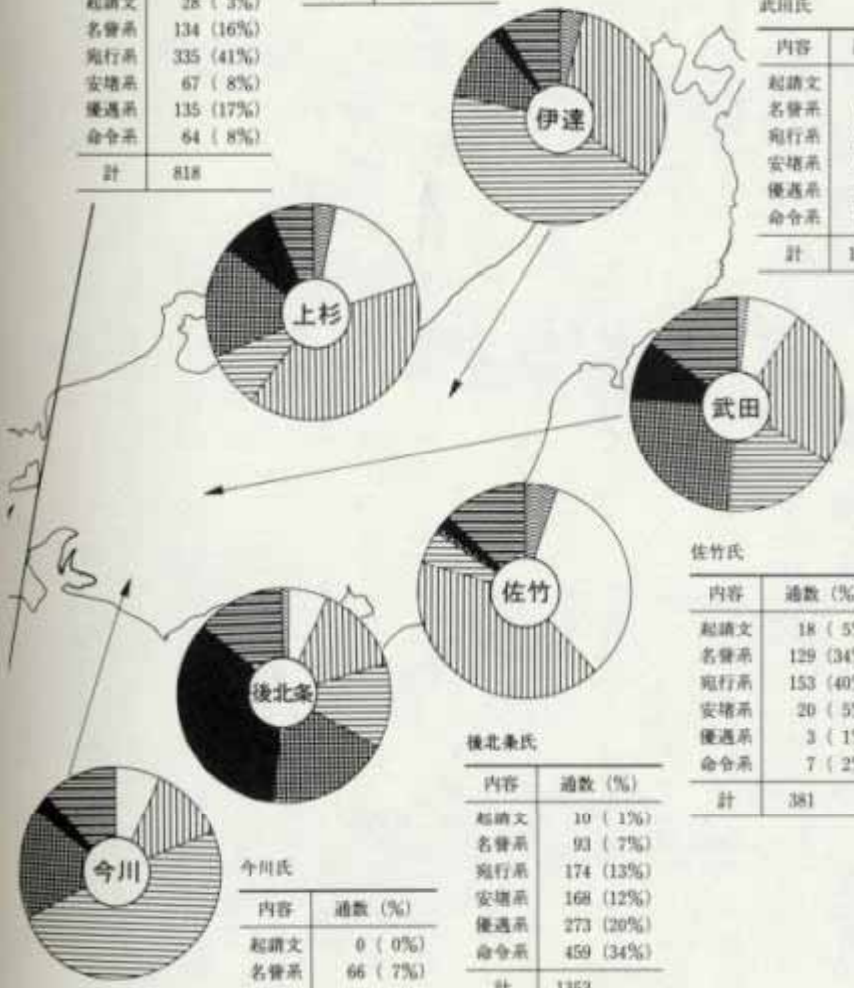
六角氏

内容	通数 (%)
起請文	0 (0%)
名誉系	102 (43%)
宛行系	14 (6%)
安堵系	52 (22%)
優遇系	38 (16%)
命令系	2 (1%)
計	235

起請文	50 (2%)
名誉系	1025 (42%)
宛行系	641 (26%)
安堵系	478 (19%)
優遇系	40 (2%)
命令系	34 (1%)
計	2469

起請文	28 (3%)
名誉系	134 (16%)
宛行系	335 (41%)
安堵系	67 (8%)
優遇系	135 (17%)
命令系	64 (8%)
計	818

内容	通数 (%)
起請文	19 (1%)
名誉系	139 (9%)
宛行系	368 (23%)
安堵系	281 (18%)
優遇系	392 (25%)
命令系	128 (8%)
計	1581



佐竹氏

内容	通数 (%)
起請文	18 (5%)
名誉系	129 (34%)
宛行系	153 (40%)
安堵系	20 (5%)
優遇系	3 (1%)
命令系	7 (2%)
計	381

後北条氏

内容	通数 (%)
起請文	10 (1%)
名誉系	93 (7%)
宛行系	174 (13%)
安堵系	168 (12%)
優遇系	273 (20%)
命令系	459 (34%)
計	1353

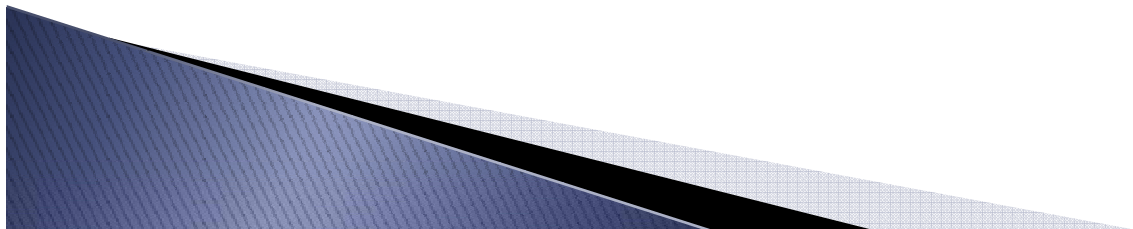
今川氏

内容	通数 (%)
起請文	0 (0%)
名誉系	66 (7%)
宛行系	104 (12%)
安堵系	448 (50%)
優遇系	151 (17%)
命令系	23 (3%)
計	902

東国大名は黒の「命令系」と
格子の「優遇系」が多い

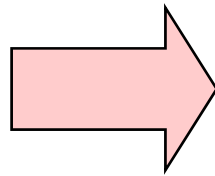
結果を手に入れたら、「意味」を考える

西国大名は白の
「名誉系」が多い



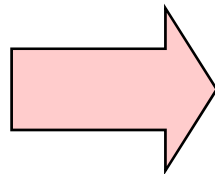
東国大名は黒の「命令系」と
格子の「優遇系」が多い

命令系



強いリーダーシップを発揮

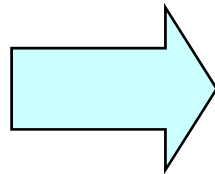
優遇系



行政システムが整っている

西国大名は白の「名誉系」が多い

名誉系



家臣との心のつながり

東国大名

はんこ政治

たくさん文書を出す

村宛てに出す

充実した行政システムに支えられた積極的な統治

西国大名

サイン政治

それほど文書を出さない

村宛てに出さない

家臣との信頼関係に基づいたゆるやかな統治

東と西の違いは、なぜ生じたのか？

気候

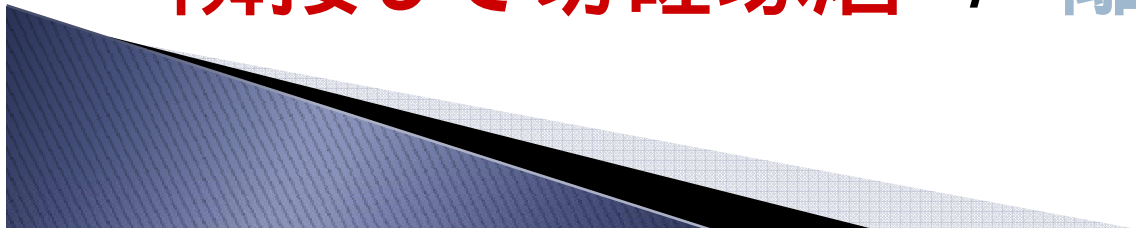
寒冷 / 温暖

地形

山 / 海

広い平野 / 谷ごとに分離

隣接して切磋琢磨 / 離れてのんびり



東と西の違いは、なぜ生じたのか？

伝統

武士 / 貴族

文化

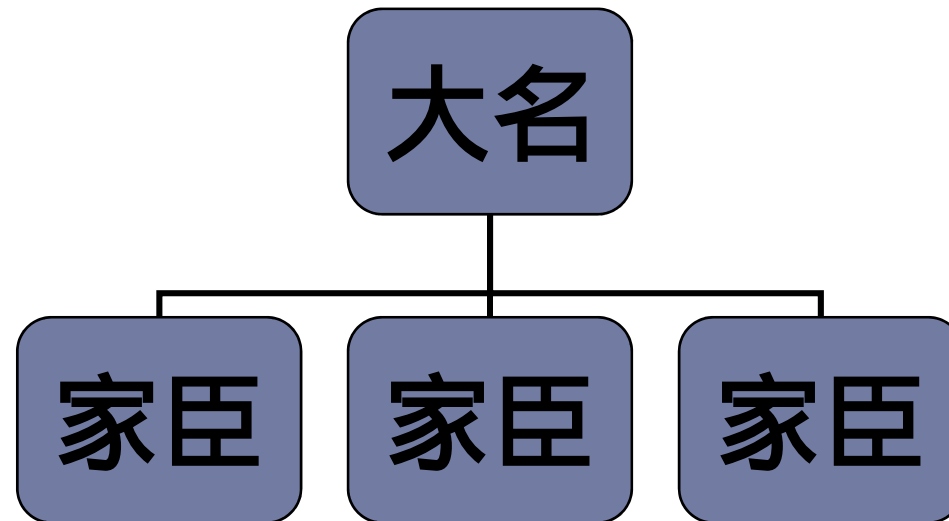
辺境 / 先進

証明できるものが欲しい！

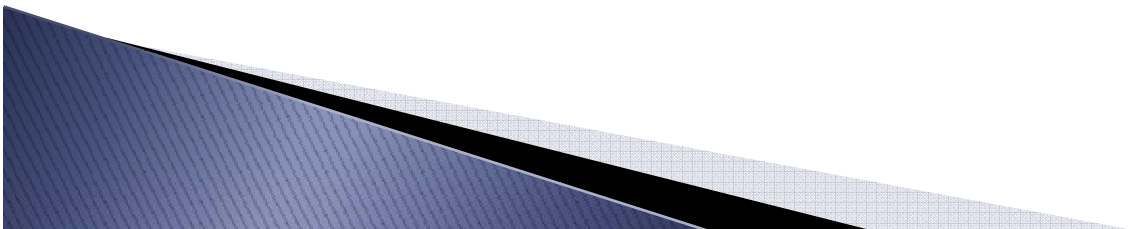
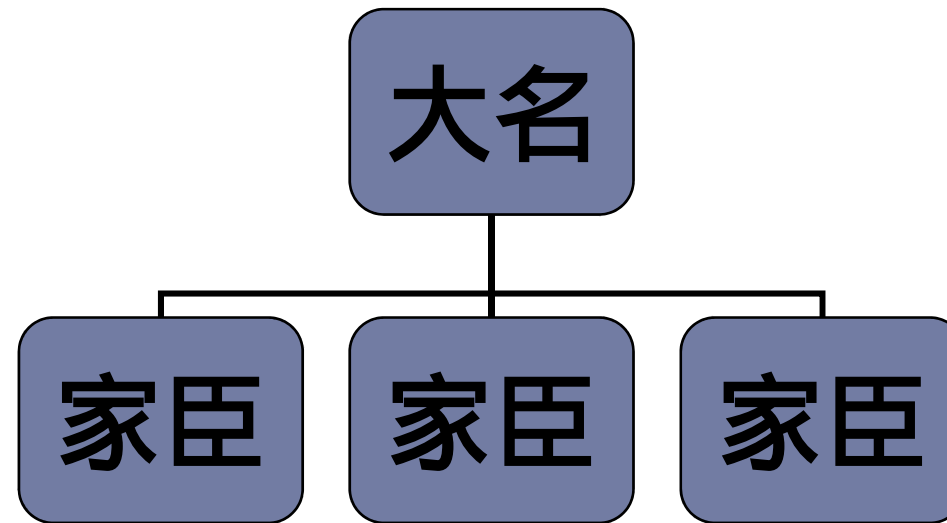
リーダーシップか人の和か

発想

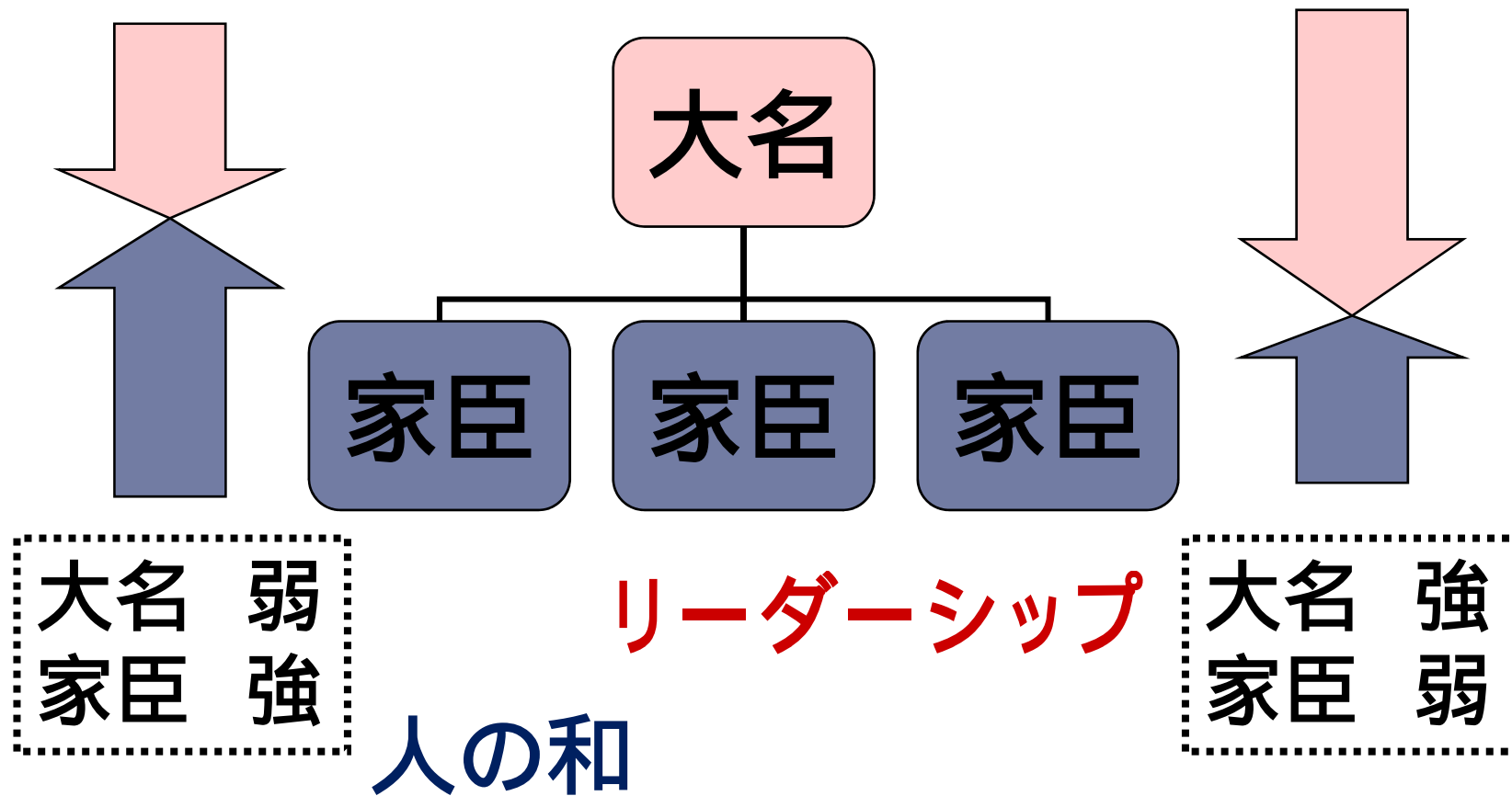
大名の政治力を**直接に**
決めているのは家臣たちだ！



こんなふうに発想してみました。



こんなふうに関想してみました。



こんなふうには発想してみました。

大名と家臣の力関係を
調べればいいんだ！

大名 弱
家臣 強

リーダーシップ

大名 強
家臣 弱

人の和

研究のコツ

たいせつなのは、何を調べるか、
ターゲットを明確にすること

大名と家臣の力関係を
調べればいいんだ！

東と西の違いは、なぜ生じたのか？

漠然とした問いを
解けるカタチに変換

文化

武土 / 貴族
文化
境界 / 先進

証明できるものが欲しい！

大名と家臣の力関係を
調べればいいんだ！



これが測れる史料を探してみました。

見つかったのは財産リスト

一 金山丹波守

百八貫貳百文

日 松田惣兵衛

百六拾貳文

中 善以

百六拾文

中 金月

百六拾文

江戸廻 上平川

一 遠山丹波守⁽²⁾

百卅八貫貳百五拾文

西郡 松田⁽³⁾ 惣領

百五拾四貫卅文

同 曾比⁽⁴⁾

五百六拾貫文

中郡 金目⁽⁵⁾

百老貫八百五拾文

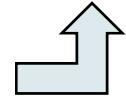
江戸廻 上平⁽⁶⁾

川⁽⁷⁾ 郷⁽⁶⁾ 郷⁽⁵⁾ 分⁽⁴⁾

大名と家臣の力関係を
調べればいいんだ！

後北条氏

つねに念頭に置いておく！



『小田原衆所領役帳』

おだわらしゅうしりょうやくちょう

家臣ひとりひとりの土地リスト



大名と家臣の力関係を
調べればいいんだ！

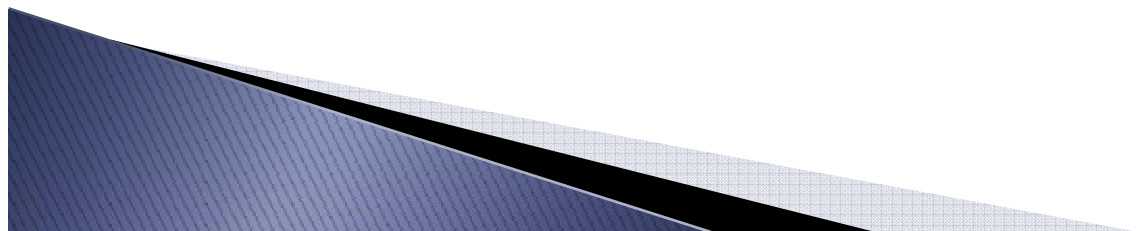
毛利氏

『八箇国御時代分限帳』

はっかこくおんじだいぶんげんちょう
家臣ひとりひとりの土地リスト



電卓片手にせっせと数えた結果です。



後北条氏

大名と家臣の力関係を
調べればいいんだ！

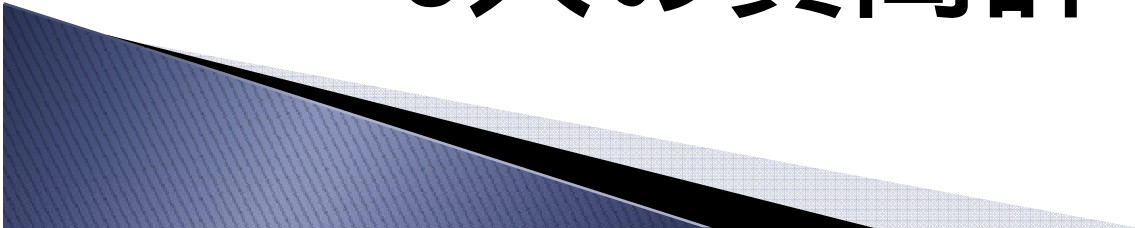
『小田原衆所領役帳』

総人数 556人

総貫高 72168貫

上位1.1% = 6人にしぼると

6人の貫高計 13684貫



後北条氏

大名と家臣の力関係を
調べればいいんだ！

『小田原衆所領役帳』

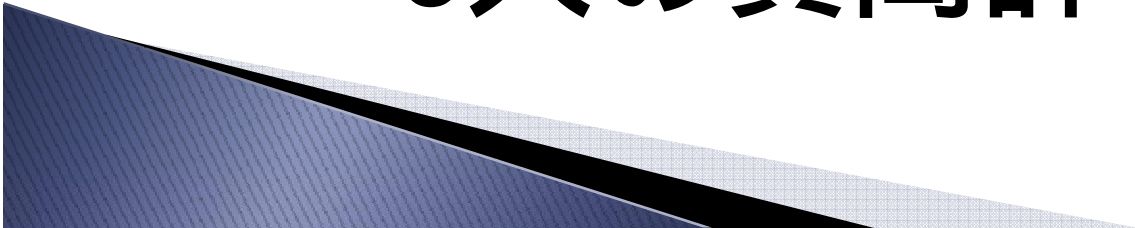
総人数 556人

総貫高 72168貫

上位1.1% = 6人にしぼると

19%

6人の貫高計 13684貫



毛利氏

大名と家臣の力関係を
調べればいいんだ！

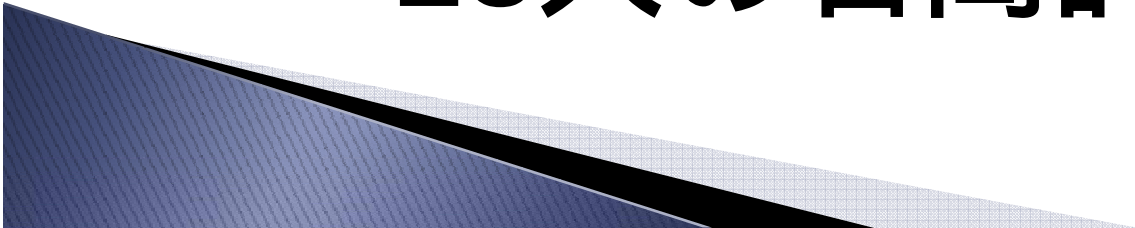
『八箇国御時代分限帳』

総人数 2115人

総石高 648676石

5000石以上 = 23人 = 1.1%にしぼると

23人の石高計 312047石



毛利氏

大名と家臣の力関係を
調べればいいんだ！

『八箇国御時代分限帳』

総人数 2115人

総石高 648676石

5000石以上 = 23人 = 1.1%にしぼると

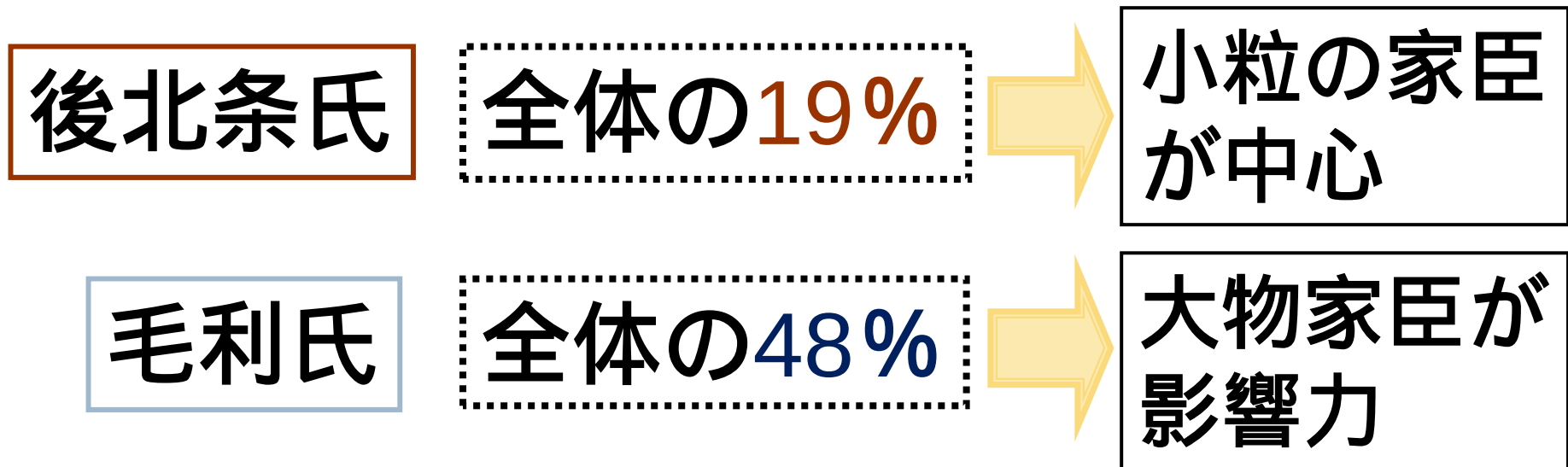
23人の石高計 312047石

48%

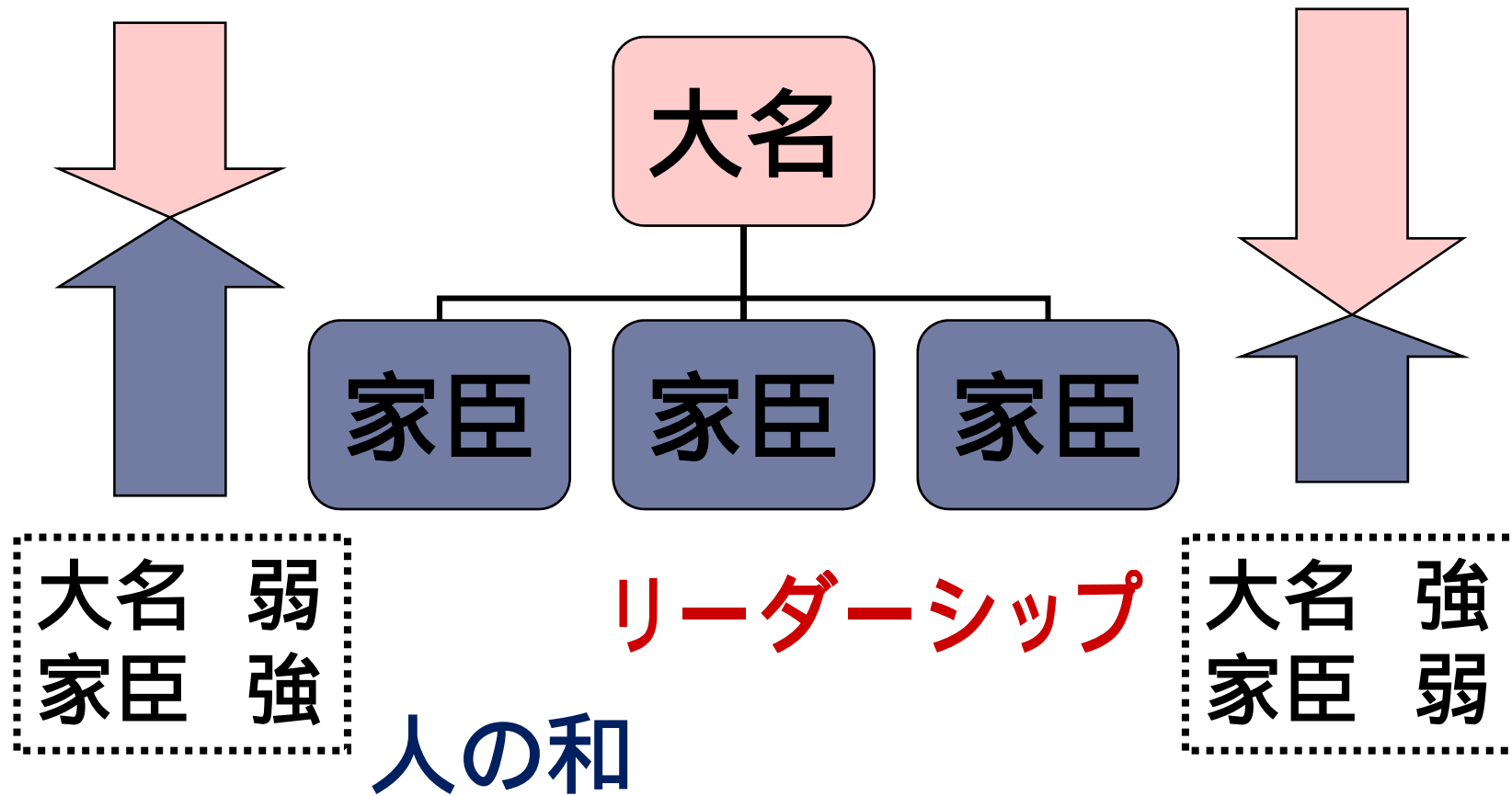
大名と家臣の力関係を
調べればいいんだ！

つまり・・・

上位1.1%の家臣が所有する土地は

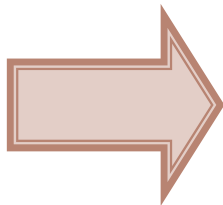


Q.E.D. 証明できた！

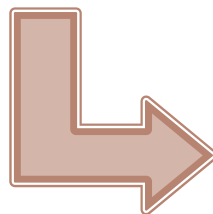


東国

貧しい



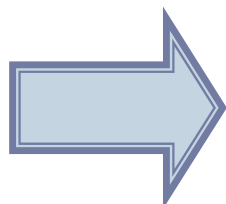
家臣が弱い



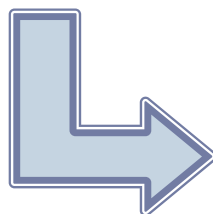
逆に大名が強くなる

西国

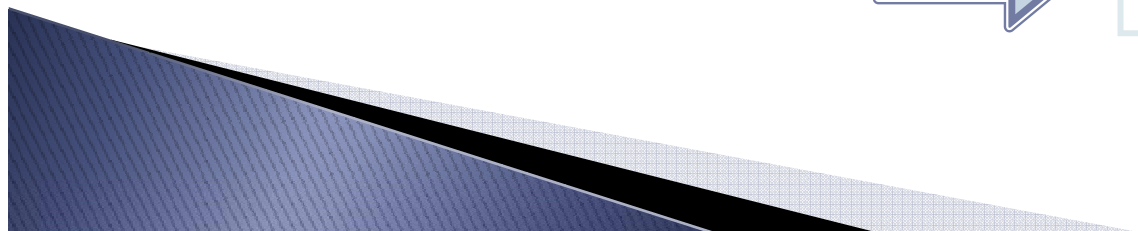
豊か



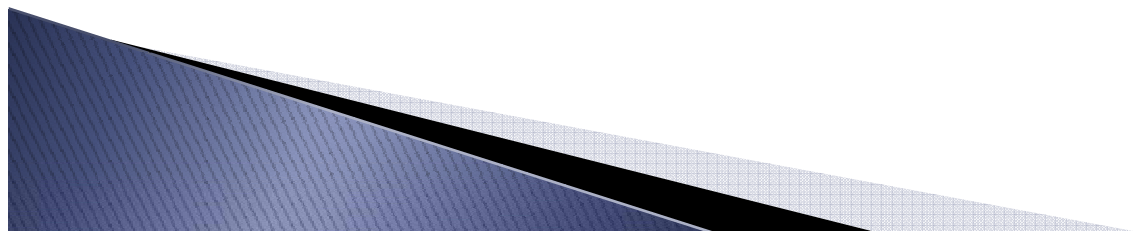
家臣が強い



逆に大名が弱くなる



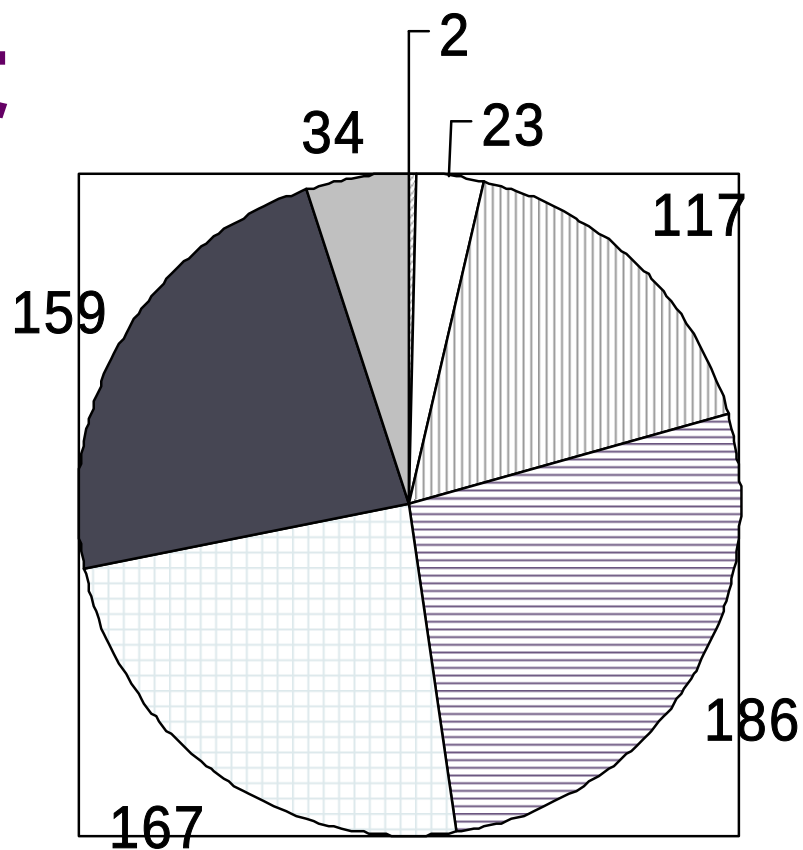
では、この東と西の違いは、
その後、どうなったのか・・・





神戸市立博物館蔵

信長

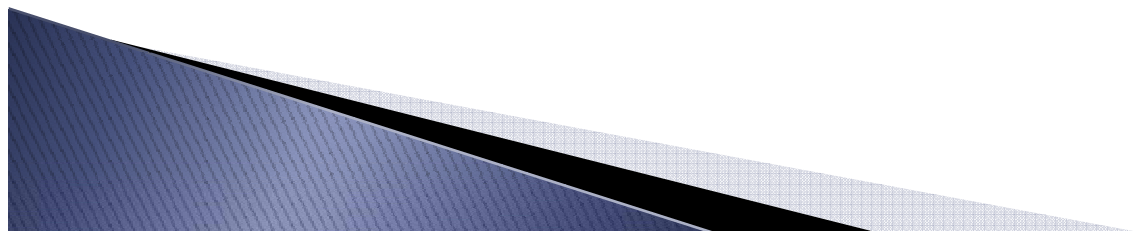


優遇系 24%

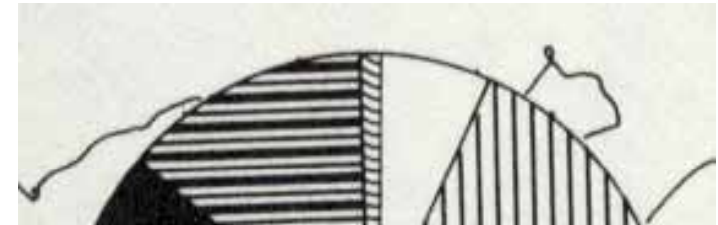
命令系 23%

信長の特徴

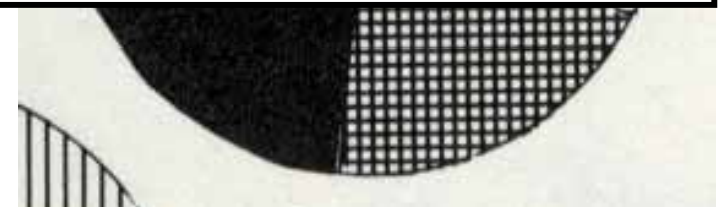
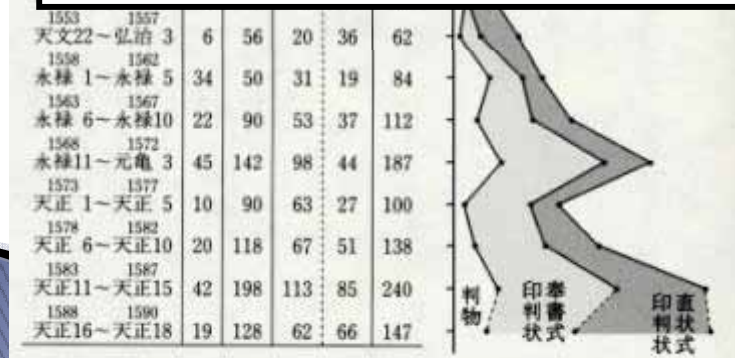
1. 安土進出を期に、すべてをはんこ化する。
2. 同時に、個人的な書状まではんこ化する。



戦国大名のうち、もっともはんこ化が進んでいた後北条氏でも、サインは使い続けた。



そもそも戦国大名で、個人的な書状にははんこを使った人はいない。



信長の特徴

1. 安土進出を期に、すべてをはんこ化する。
2. 同時に、個人的な書状まではんこ化する。

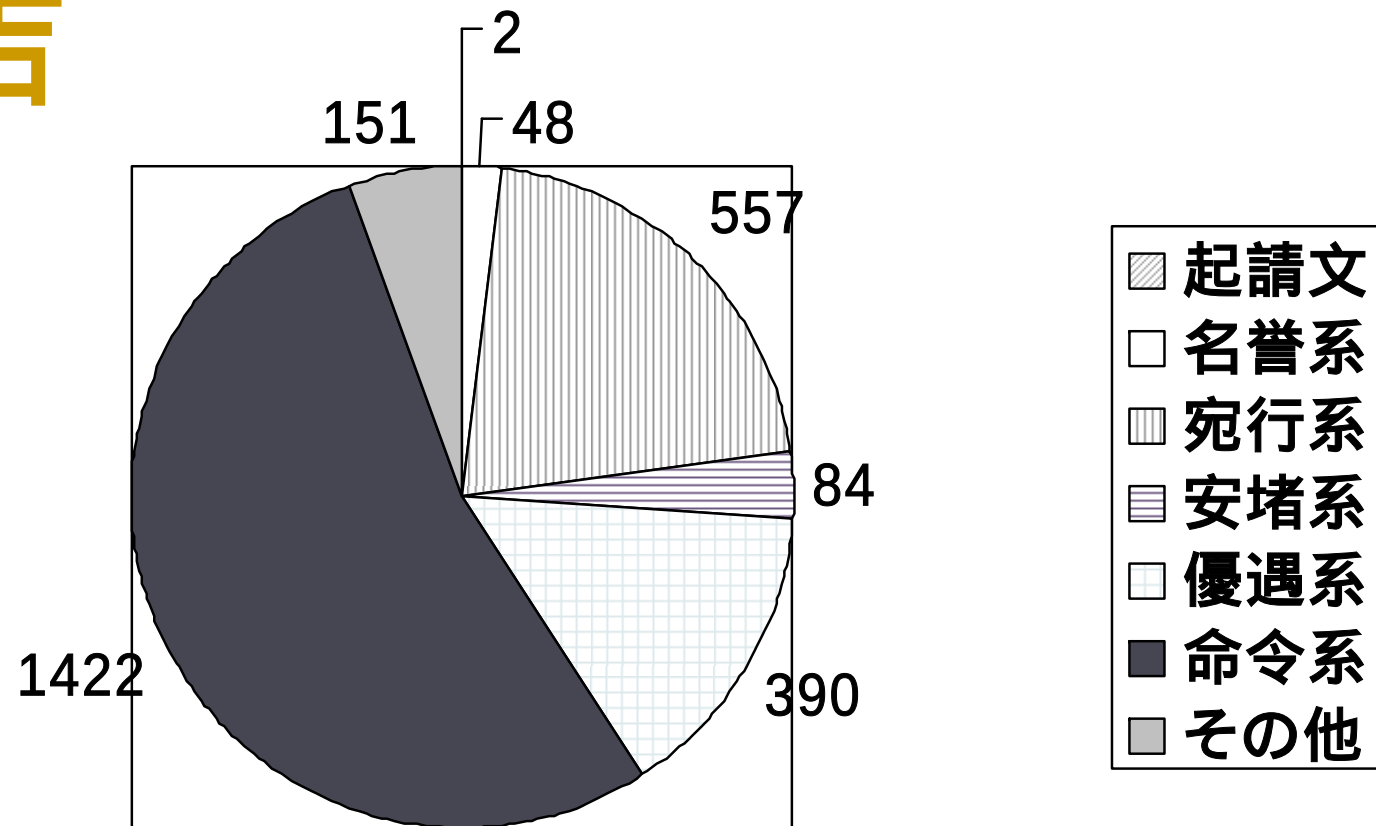
信長ってすごい・・・
はんこを極めてる。



豊臣秀吉木像
(秀吉清正記念館)



秀吉



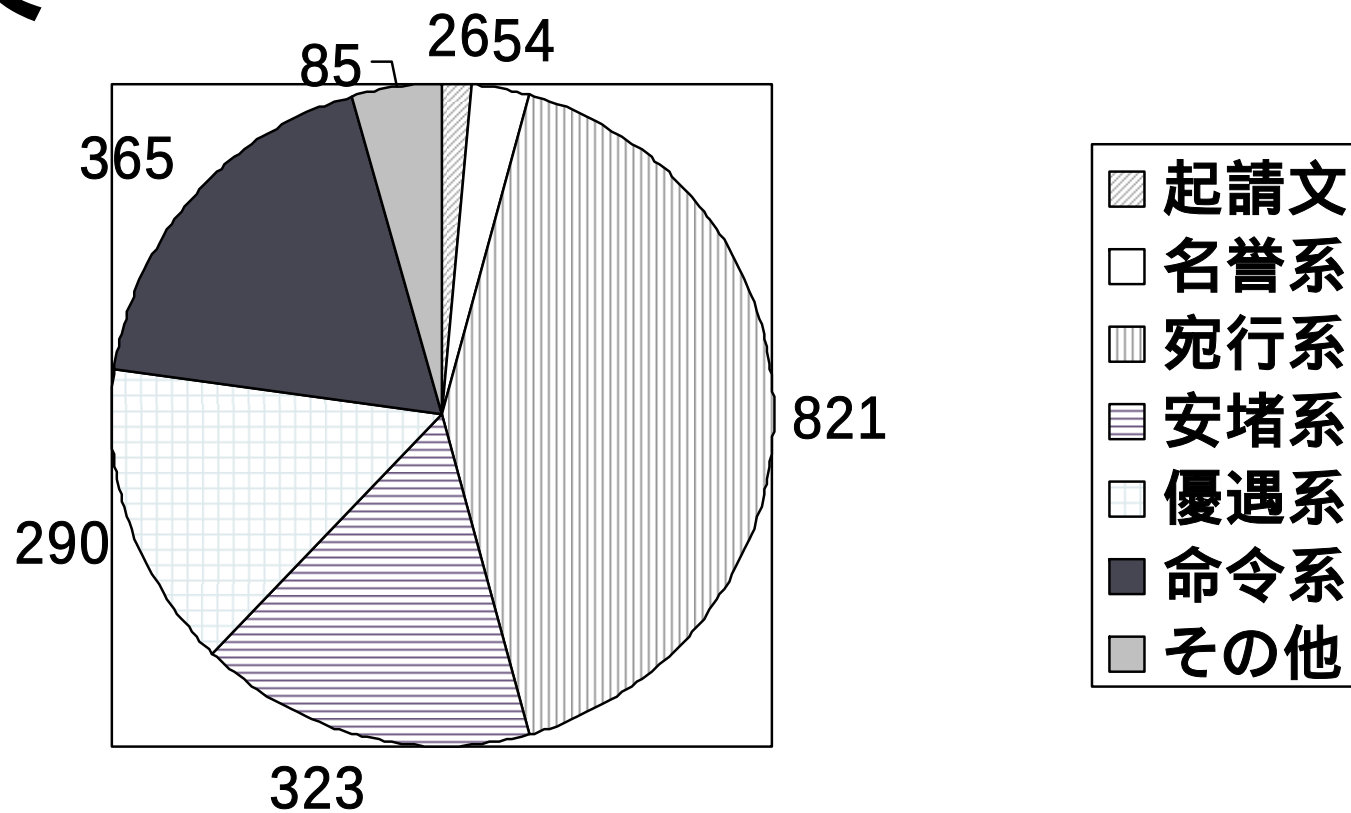
優遇系 15%

命令系 53%



徳川家康肖像
(大阪城天守閣)

家康

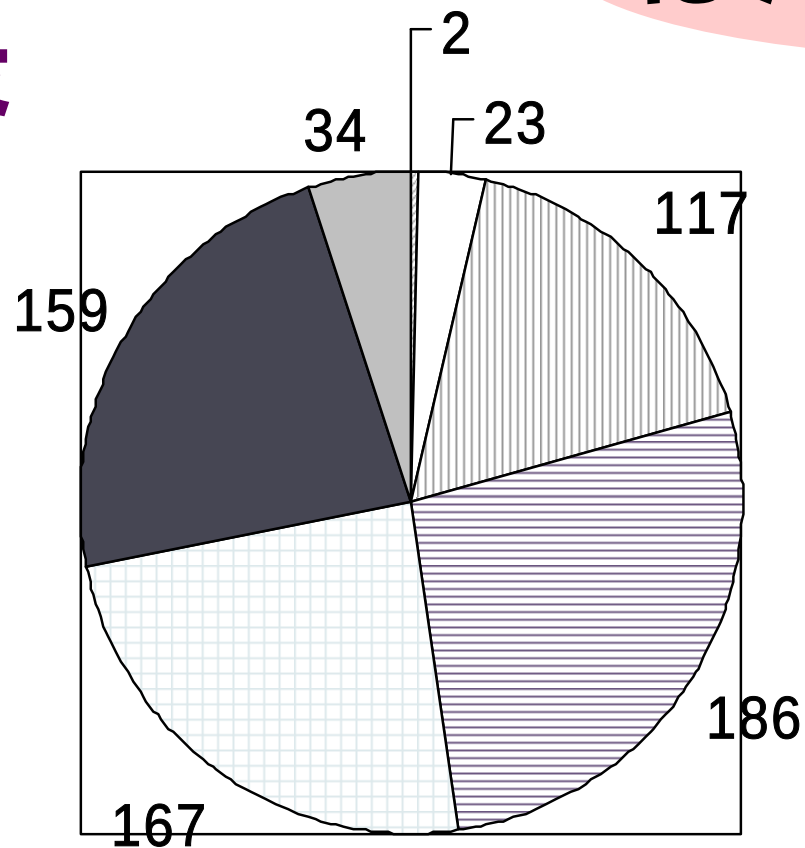


優遇系 15%

命令系 19%

信長

はんこを極める



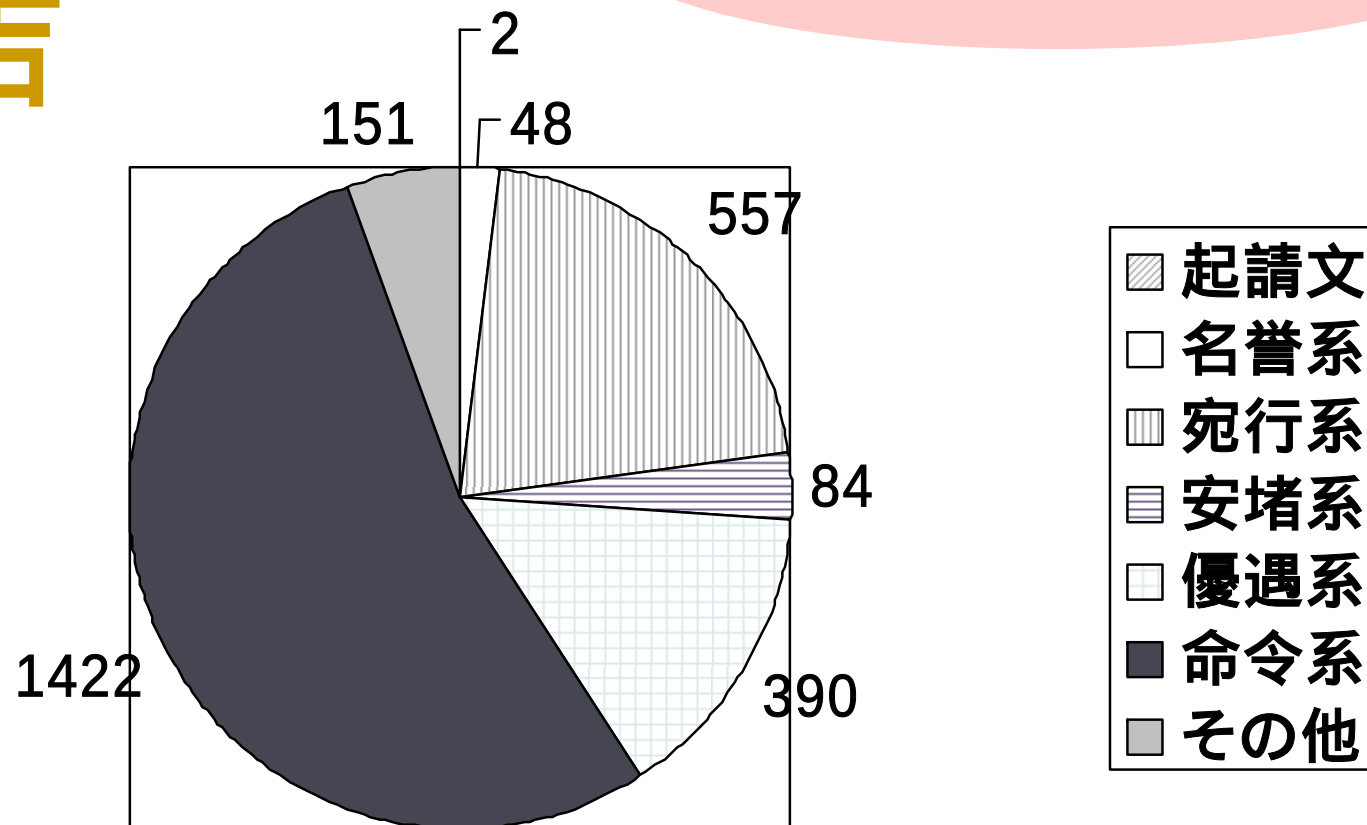
- 起請文
- 名誉系
- 宛行系
- 安堵系
- 優遇系
- 命令系
- その他

優遇系 24%

命令系 23%

秀吉

命令を極める

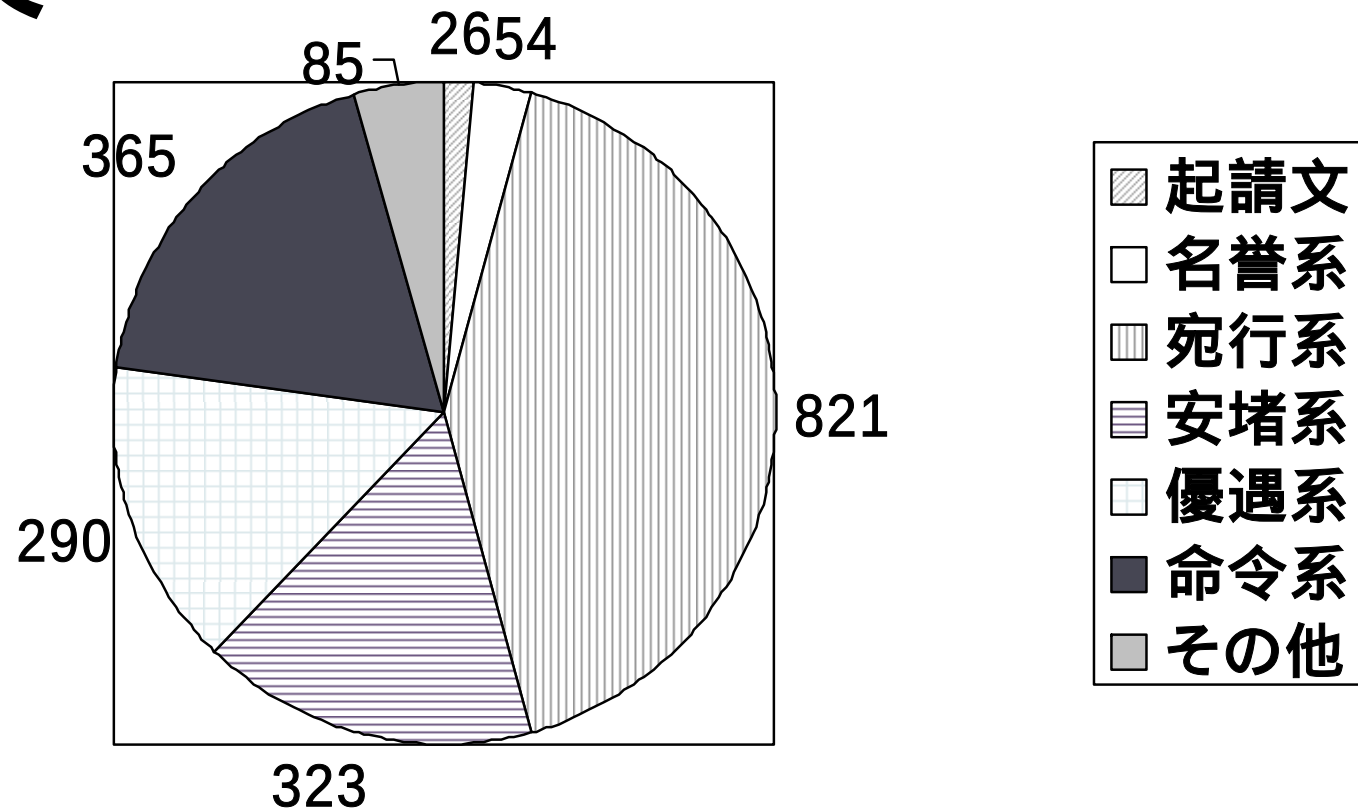


優遇系 15%

命令系 53%

家康

余裕の後退



優遇系 15%

命令系 19%

中世

サイン社会 = 分権型

戦国

西にサイン = 分権型

東にはんこ = 集権型

信長

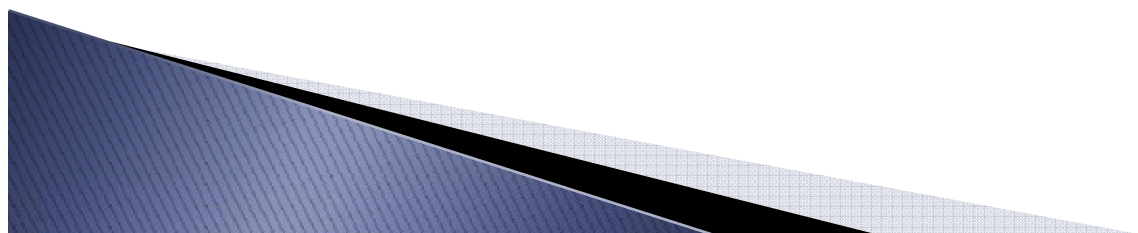
はんこ型へと大変革

秀吉・家康

はんこ型を継承

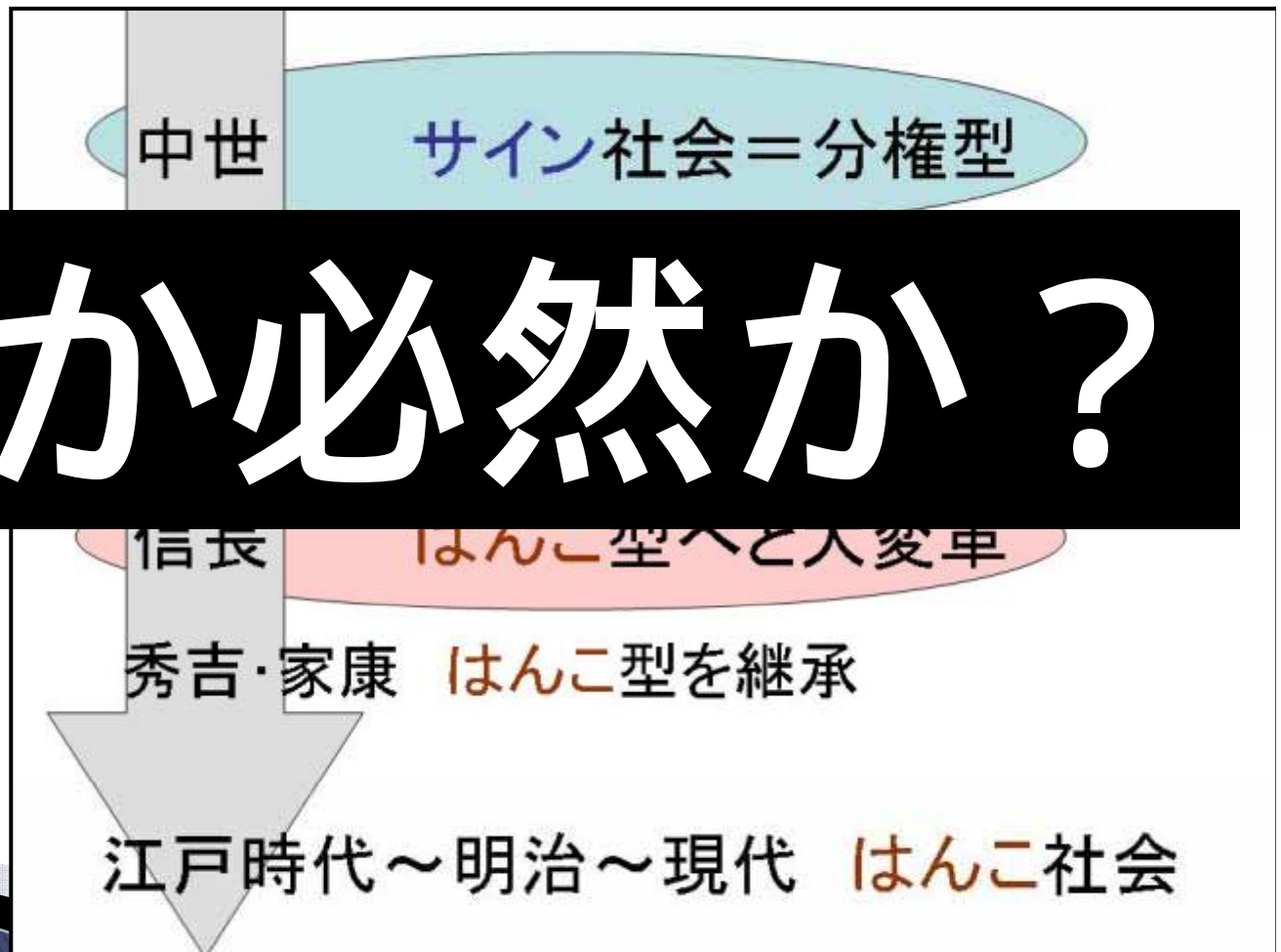
江戸時代 ~ 明治 ~ 現代 はんこ社会

さらに考えてみました。



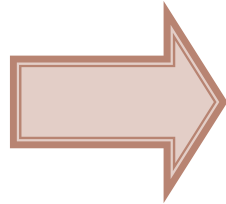
サインから **はんこ** へ

ばらばらの中世 & 戦国時代から、
まとまりの強い江戸時代へ



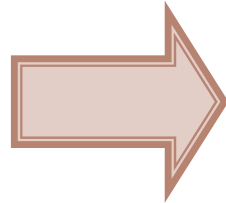
東国の「はんこ」大名

命令系



強いリーダーシップを発揮

優遇系

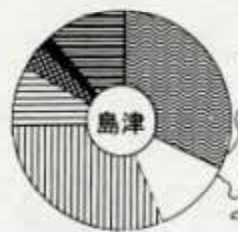


行政システムが整っている

戦争に強い！

武田信玄とか上杉謙信とか
伊達政宗とか北条氏康とか...

たしかに強い！



島津氏

内容	通数 (%)
起請文	51 (31%)
名譽系	19 (11%)
宛行系	53 (32%)
安堵系	14 (8%)
優遇系	6 (4%)
命令系	3 (2%)
計	166

大友氏

内容	通数 (%)
起請文	5 (0.3%)
名譽系	1030 (61%)
宛行系	341 (20%)
安堵系	244 (14%)
優遇系	23 (1%)
命令系	3 (0.2%)
計	1690



六角氏

内容	通数 (%)
起請文	0 (0%)
名譽系	102 (43%)
宛行系	14 (6%)
安堵系	52 (22%)
優遇系	38 (16%)
命令系	2 (1%)
計	235

伊達氏

内容	通数 (%)
起請文	7 (3%)
名譽系	0 (0%)
宛行系	66 (31%)
安堵系	91 (43%)

武田氏

内容	通数 (%)
起請文	19 (1%)
名譽系	139 (9%)
宛行系	368 (23%)
安堵系	281 (18%)
優遇系	392 (25%)
命令系	128 (8%)
計	1581

佐竹氏

内容	通数 (%)
起請文	18 (5%)
名譽系	129 (34%)
宛行系	153 (40%)
安堵系	20 (5%)
優遇系	3 (1%)
命令系	7 (2%)
計	381

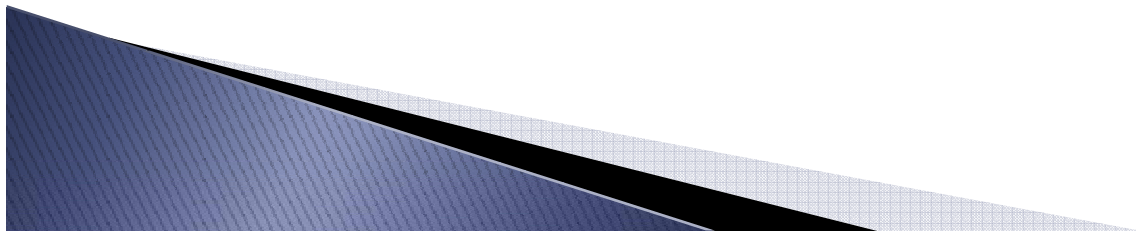
後北条氏

内容	通数 (%)
起請文	10 (1%)
名譽系	93 (7%)
宛行系	174 (13%)
安堵系	168 (12%)
優遇系	273 (20%)
命令系	459 (34%)
計	1353

今川氏

内容	通数 (%)
起請文	0 (0%)
名譽系	66 (7%)
宛行系	104 (12%)
安堵系	448 (50%)
優遇系	151 (17%)
命令系	23 (3%)
計	902

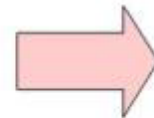
では、東の「はんこ」型の政治が日本を
制覇するのは**歴史の必然**だったのか？



戦時における強さを誇る「はんこ」大名は、
じつは大きな**弱点**を抱えていた…

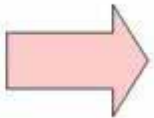
東国の「はんこ」大名

命令系



強いリーダーシップを発揮

優遇系

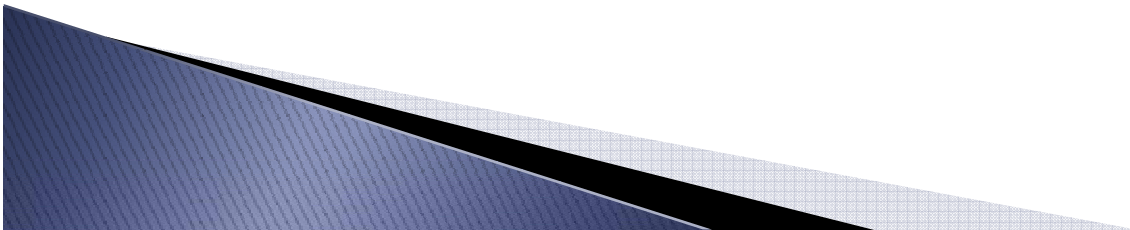


行政システムが整っている

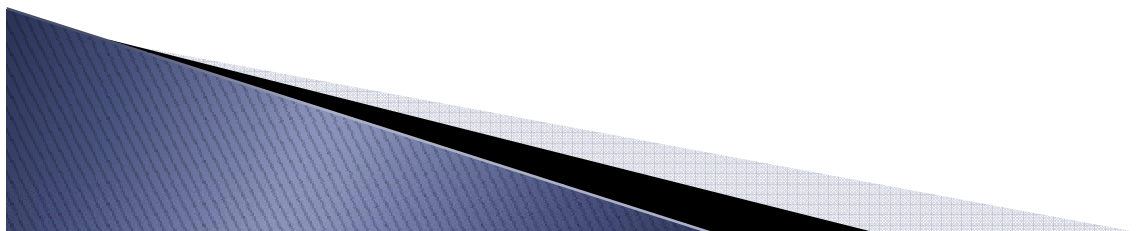
戦争に強い！

リーダーシップ型の政治の欠点は？

リーダーが去ると
ガタガタになる！



検証してみます。

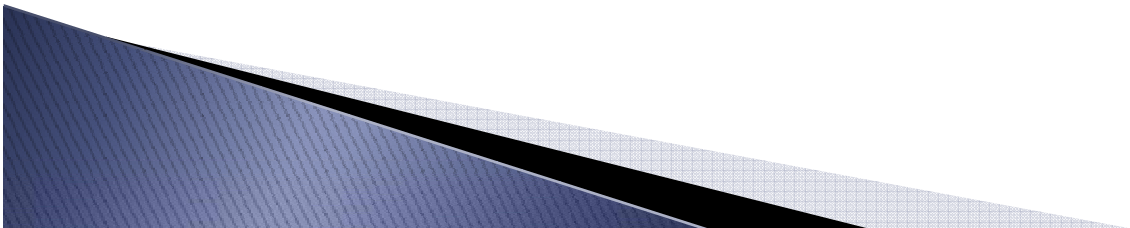


軒並み家督相続紛争を
起こした東国大名

武田

信虎 → 信玄 → 勝頼

- ・信玄は、父の信虎を国から追い出す
- ・勝頼の代に滅亡



上杉

軒並み家督相続紛争を
起こした東国大名

晴景 → 謙信 → 景勝

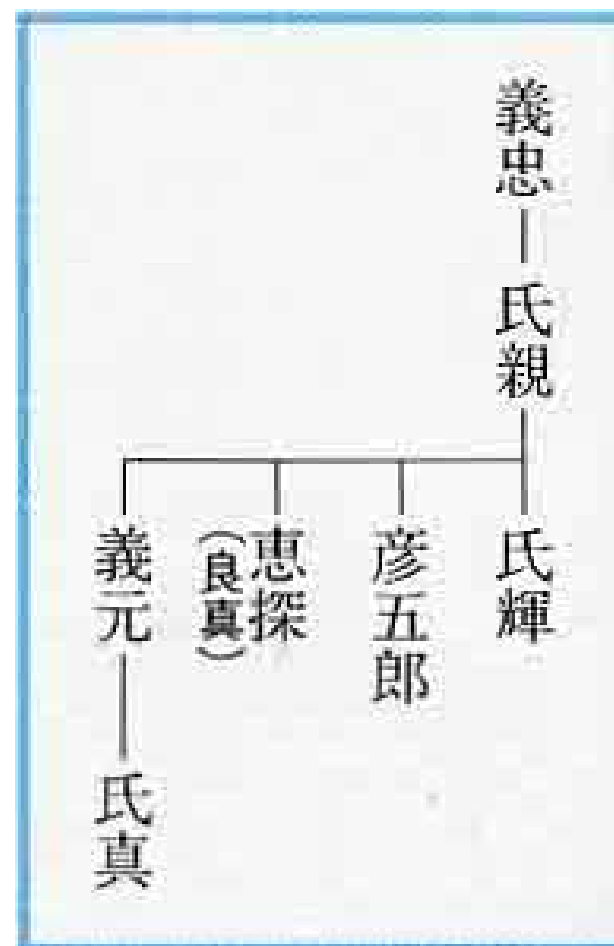
- ・ 謙信、兄晴景から政権を奪う
- ・ 景勝、養子同士の争い
御館の乱おたてのらんに勝利

今川

軒並み家督相続紛争を
起こした東国大名

氏親→氏輝→義元→氏真

- ・義元 花倉の乱で
兄恵探を倒す
- ・氏真の代に滅亡



伊達

軒並み家督相続紛争を
起こした東国大名

輝宗→政宗

・政宗、父輝宗を
抗争の中で失う



実際、黒軍の大名たちは軒並み家督相続時の紛争を経験している。つつがなく嫡々相承が行なわれたのは後北条氏くらいで、武田信玄は父信虎を逐って政権を奪ったし、今川義元は花倉の乱で兄を滅ぼして家督についている。上杉謙信も兄晴景から家督を奪ったにひとしいと言えるし、その後継者景勝も御館の乱という熾烈な内戦でライバル景虎を倒して政権をもぎとった。まさに血塗られた道だ。対する白軍の大名たちにあつては、大友義鑑から義鎮に引き継がれるときの二階崩れの変が目につくくらいで、総じて血なまぐさい風は吹いていない。毛利氏では、隆元が若死にしたあとも幼少の輝元を懸命に補佐すはらみつとも宗麟肉あいはむ内戦を一見強固な軍事吉もこれを克服すを何ら持ちえなかつて、たのみ申候、も、何の効果も発

実際、黒軍はんこの大名たちは軒並み家督相続時の紛争を経験している。……まさに血塗られた道だ。

このように、黒軍には権限の継承が円滑に行なえないという弱点があつた。したがって、この弱点を衝くことができれば、白軍にも巻きかえしの機会があつたはずである。たとえば、本能寺直後、信長という求心力を失つて黒軍が四分五裂しかねない危機に陥ったとき。大軍を率いて秀吉との激戦を

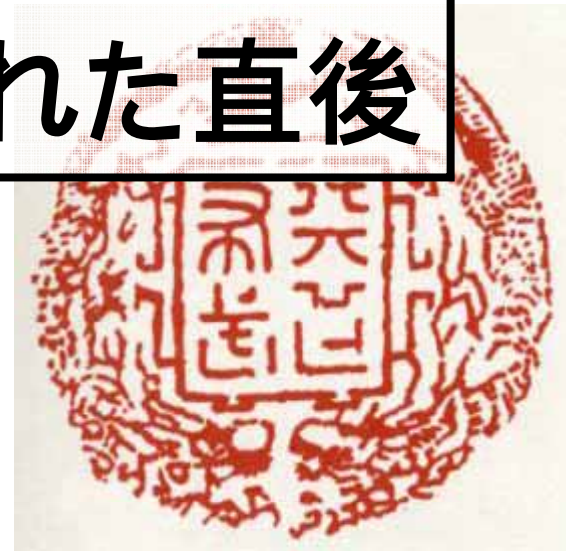
続けていたさたれた。ところがえして京をめざ乗殺せよ、はを破るのは隆景が行なつたもし、このれたかもしれないことは、じゅうもつとゆるやか

このように、黒軍には権限の継承が円滑に行なえないという弱点があつた。したがってこの弱点を衝くことができれば、白軍(サイン)にも巻きかえしの機会があつたはずである。

国家といった呼称が似合うような。もし、そうなら、鎖国なんてできたろうか。明治維新による近代国家への脱皮などという芸当をなしえただろうか……。

を問うことは、歴史の営みとしては禁じられた所行なのかもしれない。けれど、その禁を敢えて犯してみたくなるほど、この時期にはまれていた可能性は多彩だ。実際に演じられたシナリオの他に、白軍の頑張りようなどさまざまな変数のでかた次第で、もっと多くの、もっととんでもないヴァリエーションがありえたのではないか。小早川隆景というささやかな一個人の決断にさえ途方もない重みがかかっていたことを思うと、歴史の必然などという言葉が急に色褪せて見えてくる。

たとえば
本能寺で信長が殺された直後



実際、黒軍の大名たちは軒並み家督相続時の紛争を経験している。つつがなく嫡々相承が行なわれたのは後北条氏くらいで、武田信玄は父信虎を逐って政権を奪ったし、今川義元は花倉の乱で兄を滅ぼして家督についている。上杉謙信も兄晴景から家督を奪ったにひとしいと言えるし、その後継者景勝も御館の乱という熾烈な内戦でライバル景虎を倒して政権をもぎとった。まさに血塗られた道だ。対する白軍の大名たちにあつては、大友義鑑から義鎮に引き継がれるときの二階崩れの変が目につくくらいで、総じて血なまぐさい風は吹いていない。毛利氏では、隆元が若死にしたあとも幼少の輝元を懸命に補佐する頼もしい叔父さまたちの姿がみられるし、大友氏では、宗教上の抜き難い対立をはらみつつも宗麟―義統父子の二頭政治が長らく続いていく。いずれも、東国にあつては、即座に骨肉あいにはむ内戦を惹き起こしかねない状況である。

一見強固な軍事力を誇るかにみえる黒軍には、じつはこのような弱点があつた。そして、信長・秀吉もこれを克服することはできなかった。本能寺のあと、信雄も信孝も三法師君も政局を收拾する力を何ら持ちえなかったし、秀吉がいまわの際に「秀より事なりたち候やうに、此かきつけ候しゆとして、たのみ申候、……返々、秀より事たのみ申候」〔毛利家文書〕九六〇〕とくどくど繰り返した言葉も、何の効果も発揮しなかった。

このよ
を衝くこ
長という

毛利氏にとって 京に攻めのぼる絶 好の機会が訪れた。ところが……

続けていたさなかの毛利氏にとって、織田勢を押しかえしあわよくば京に攻めのぼる絶好の機会が訪れた。ところが、毛利首脳はころがりこんできたこの好機を掴もうとはせず、秀吉が鮮やかに兵をかえして京をめざし長驅していくのを指をくわえて眺めていた。巷説によれば、「加様の時にこそ馬を乗殺せよ、はや／＼」〔川角太閤記〕一ノ上〕と進軍を主張した吉川元春を、秀吉との和睦の起請文を破るのは礼にもとる、そんなことをしたら当家は秀吉によって「葉を枯し根を絶す計に可被_レ打果候」〔太閤記〕三〕と小早川隆景が説得して、この選択がなされたのだという。この瞬間に小早川隆景が行なった決断が、黒軍にその最大の危機から立ち直る余裕を与えることになった。

もし、このとき毛利軍が戦う道を選んでいたら、あるいは白軍にも花の京都に旗を立てる機会が訪れたかもしれない。そこまでいかなくとも、黒軍の分裂を招いて天下一統の日程を大はばに遅らせることは、じゅうぶんありえたであろう。そうなれば、幕藩制のようなしつかりしたシステムではなく、もっとゆるやかで地方分権色の濃い統合体に収束することになった可能性が高い。領邦国家とか連邦国家といった呼称が似合うような。もし、そうならいたら、鎖国なんてできただろうか。明治維新による近代国家への脱皮などという芸当をなしえただろうか……。

Ⓐを問うことは、歴史の営みとしては禁じられた所行なのかもしれない。けれど、その禁を敢えて犯してみたくなるほど、この時期にはらまれていた可能性は多彩だ。実際に演じられたシナリオの他に、白軍の頑張りようなどさまざまな変数のかた次第で、もっと多くの、もっととんでもないヴァリエーションがありえたのではないか。小早川隆景というささやかな一個人の決断にさえ途方もない重みがかかっていたことを思うと、歴史の必然などという言葉が急に色褪せて見えてくる。

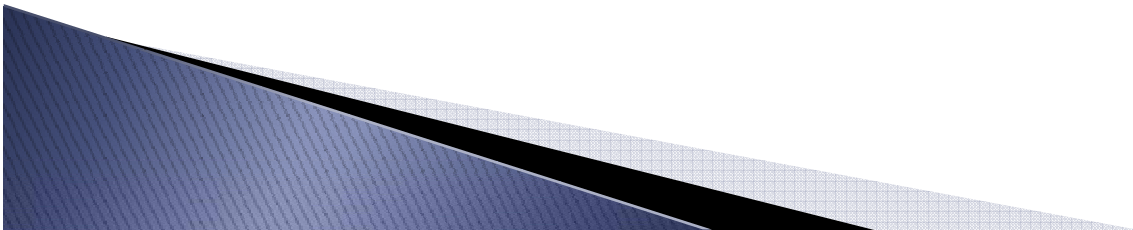
加様の時にこそ
馬を乗り殺せよ、
はやはち

（毛利一族吉川元春の主張）

未来予測の課題です。

歴史のifを問う

以下のどちらかを選び、
その後の日本はどうなったか、
推理して下さい。



1. 西の逆転

吉川元春の主張が通り、
西のサイン型統治が日本を覆っていたら。

2. 東の突出

信長が本能寺で生き延び、
東のはんこ型統治がもっと極められていたら。

